



第2回講座

スキルアップ講座 ～チームビルディングとファシリテーション～

日 時：2023年10月11日（水）19:00～21:30

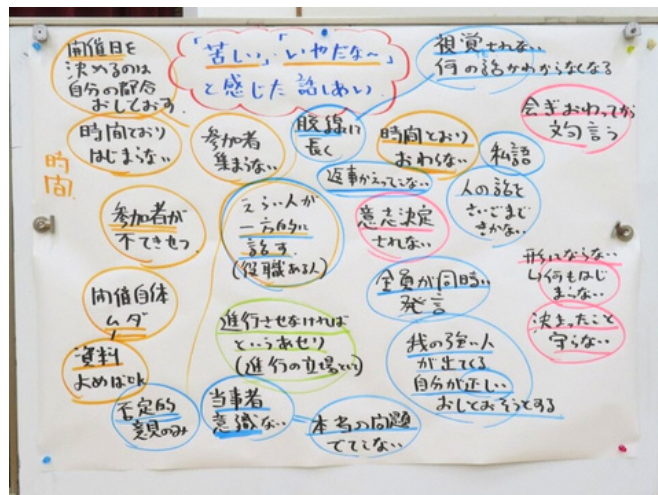
場 所：新城区公民館

講 師：宮道 喜一（NPO法人まちなか研究所わくわく事務局長）

参加者：12名／16名（地域コーディネーター、自治会、福祉・医療関係等）

スキルアップ講座

第2回講座、スキルアップ講座では～チームビルディングとファシリテーション～と題し、話し合いの場づくりと進め方について学びました。地域においても、趣味のサークルや保育園のお迎え、委員会活動などのコミュニティの中で、集い、話し合う機会は多様にあります。今回の講座では、地域の困りごとを解決していくプロセスにおける、話し合いの場づくりのスキルについて学びました。



受講生の皆さんが日ごろ体験している、話し合いの場での悩みを共有するワークでは「時間通りに始まらない会議」や「脱線して話がすすまない会議」、「建設的な話しが出てこない」など、様々な体験談が出されました。多くの意見を板書してみると、その悩みが会議前、会議中など「いつ起こっていることなのか？」や、それは「時間」「人」「会議そのもの」どれに関するものなのか？など、バラバラに出された意見を分類しやすくなることの気づきがありました。また「やりたいこと（理想）」よりも「経験したこと」の方が「問い」のコツがあることもわかりました。





さらに、場づくりには3つのデザインがあり、①のプロセスデザインでは目標に到達するためのスモールステップを設定すること、②の場のデザインでは進行役やタイムキーパーなどの役割を決めておくことや、机やイスの配置にはそれぞれ目的に合った形式を選ぶ必要があることなどが理解できました。③のプログラムデザインでは、有機的な流れをつくる“共有”⇒“拡散”⇒“混沌”⇒“収束”⇒“共有”というサイクルが重要で、この流れを意識しながらプログラムを作るシートの活用法についても学びました。また、ファシリテーターとして相互交流がしやすい場をつくり、話し合いを進行するために大切なポイントには、よく「聴く」ことや、脱線した場合には本題に戻す、という大きな役割がある事について理解を深めることができました。

その後のワークでは、今回の講座で学んだことを実践しながら、次回のフィールドワークに向けて、グループのテーマや調べたいことなどについて話し合いました。



【ワーク】グループのテーマや調べたいこと

Aグループ

リーダー：大河正治さん
副リーダー：内村麻子さん

Bグループ

リーダー：幸地利香さん
副リーダー：兼濱愛理さん

Cグループ

リーダー：米須和美さん
副リーダー：新垣真弓さん



障がいのある方も社会に役割がある。自分が暮らすまちには障がいのある方にとってどういったつくりになっているのか？車イスの視点で地域を歩いてみたい。



子ども・学びの機会について。不登校の子、親、時代の変化もふまえ、子どもたちがどこにいるのか、児童館や学童に話を聞きたい。



開発がすすむヒルズ通りのまちの変化から、ニューカマーと既存の住民をどうやってつないでいくか。新しい店舗の方に話を聞きたい。



第3回講座は⇒⇒⇒

内容：フィールドワーク ～地域の資源を歩いて知ろう～

日時：2023年10月14日（土）9:30～15:00

場所：喜友名区公民館